

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 16

2014.11.12 (No.2801)

第2560地区ガバナー／佐々木昌敏
 会 長／高橋 司
 会長エレクト／五十嵐晋三(クラブ奉仕A)
 副 会 長／川瀬康裕(クラブ奉仕B)
 幹 事／野崎喜一郎
 S A A／松永一義
 会 計／船越正夫

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:54名中31名
 ■先々週出席率:86.27%

【先週のメイクアップ】

[11.6] 燕RCへ

- ・菊池 涉さん、 加藤紋次郎さん、
- ・佐野勝榮さん、 中村和彦さん

[11.6] 三条ローターアクトへ

- ・吉井直樹さん

[11.9] 五十嵐川クリーン作戦へ

- ・阿部吉弘さん、 五十嵐博宣さん、
- ・伊藤寛一さん、 衛藤泰男さん、
- ・小越憲泰さん、 歸山 肇さん、
- ・金子俊郎さん、 樺山 仁さん、
- ・木村文夫さん、 近藤雄介さん、
- ・杉山幸英さん、 中林順一さん、
- ・中村信一さん、 西山徳芳さん、
- ・丸山行彦さん、 山田富義さん

(16名)

[11.11] 三条北RCへ

- ・五十嵐晋三さん、 小越憲泰さん、
- ・丸山行彦さん、 菊池 涉さん、
- ・石橋育於さん、 斎藤弘文さん、
- ・加藤紋次郎さん、 熊倉昌平さん、
- ・山田富義さん、 野地貞儀さん

(10名)

「ロータリーに輝きを」

2014～2015年度国際ロータリーのテーマ



「観音沼」

職場例会

於 (株)高儀



技術を研ぐ。感覚を磨く。

人間の手が生み出すものの豊かさ。そして、人間の手の可能性をさらに広げる道具。文化は、手と道具の出会いによって積み重ねられてきた一面があります。

高儀は、創業が慶応2年。以来百四十数年にわたる歴史は、そのまま人の手と技をめぐる歴史と共にあった、とすることができるでしょう。

このような伝統をふまえ、プロフェッショナルニーズにお応えする商品から人間工学に基づいた家庭用工具に至るまで、高儀では社会のニーズの多様化に応じて、商品の幅をひろげてまいりました。

また、海外においては中国の無錫に生産の拠点を設置。今までの卸事業主体から、製造という新しい分野にも取り組み、商品の企画開発から製造販売まで力強く進めてまいります。

道具をとおした、より豊かな社会への貢献。21世紀を迎え、高儀は皆様のお役に立つ商品づくりに、今後も積極的に取り組んでいく所存です。

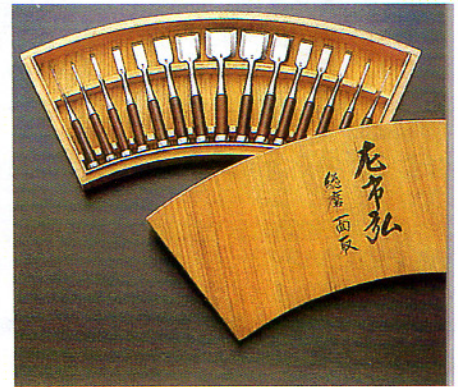
代表取締役社長 高橋 司 まもる

沿革

- 1940(昭和15年) 商社部門を高儀商店、製造部門を高儀工業所とし、それぞれ株式会社として発足。
1969(昭和44年) (株)高儀商店と高儀工業所を合併し、(株)高儀として発足。
1980(昭和55年) 量販事業部拡充のため、本社第三事業部を新潟・見附市に新設。
1990(平成2年) 新潟三条市に新本社ビル完成。
1997(平成9年) 新潟市西蒲区に第三事業部移転。敷地面積 (21,580m²)

TRADITION 伝統

手になじむやさしさ。プロの目にかなう切れ味と使いやすさ。
伝統のなかで、じっくりと培われ、育まれてきたものがあります。



鋸(のこぎり)や金鉋(かなづち)、鑿(のみ)や鉋(かんな)。高儀の出発点は、これら建築にかかわる刃物や工具の製造販売にあります。

積み重ねられた技術だけが到達できる、道具としての精度。そして、品質を見極めるまなざしの厳しさ。創業以来百四十数年にわたる伝統が受け継いできたものは、道具本来のありかたを深く追求する基本的な態度です。



たとえば、鑿。一見同じように見える鑿でも、使い込むほどに、研ぐほどに、明らかな違いが現れてきます。

確かな技で丁寧に作られた鑿はくり返しくり返し研磨され、鋼がすり減るまで、刃物としての使いやすさを失うことはありません。これに対し、内部にかくされた1点の傷のために、鋼を最後の部分まで使い切るのできない鑿が、一方にはあります。

お使いいただいて初めてわかる違いに対して、真摯な姿勢を貫きとおそうとする努力。作り手の技と熟練

度がものをいう世界にあって、道具を見極める確かな力の蓄積は、高儀にとっての大きな財産です。

道具の品質を決めるのは、鋼などの素材だけではありません。手になじむバランスのよさも、道具の機能性を左右するポイントです。プロフェッショナルが毎日使う道具としてのバランス。一般家庭での使用に適したバランス。それは自ずと違うものです。

いうまでもなく、道具は使う人がいて、初めてその役割を果たします。バランスの違いに象徴されるように、使われる場面や状況によって、求められる品質が異なるのは当然です。

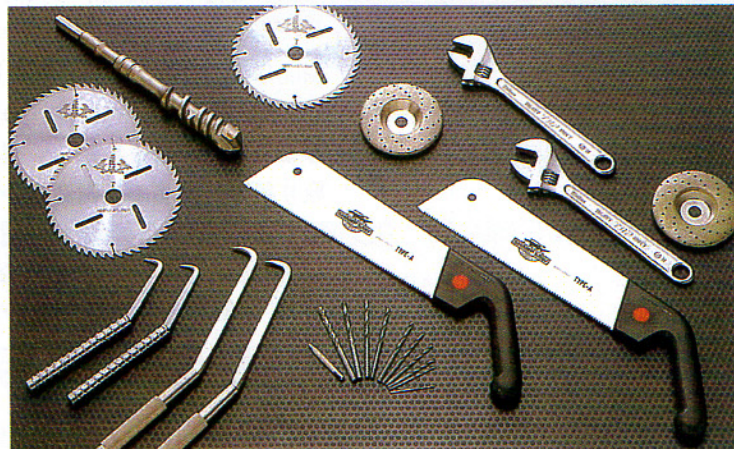
高儀は伝統という基盤を背景に、それらの違いをひとつひとつ丁寧に検証。使う人にとって過不足のない品質をお届けするための研究は、商

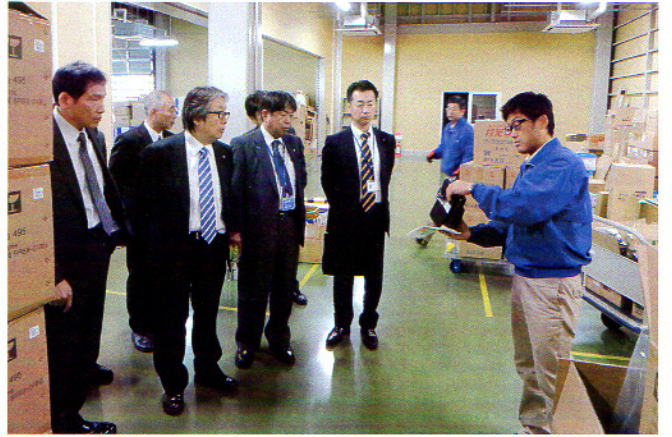
品分野をより細やかに広げることもなりました。

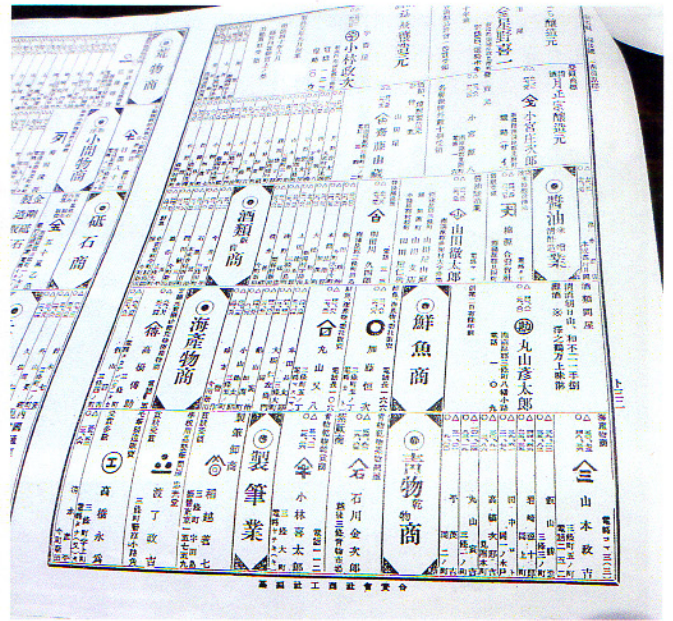
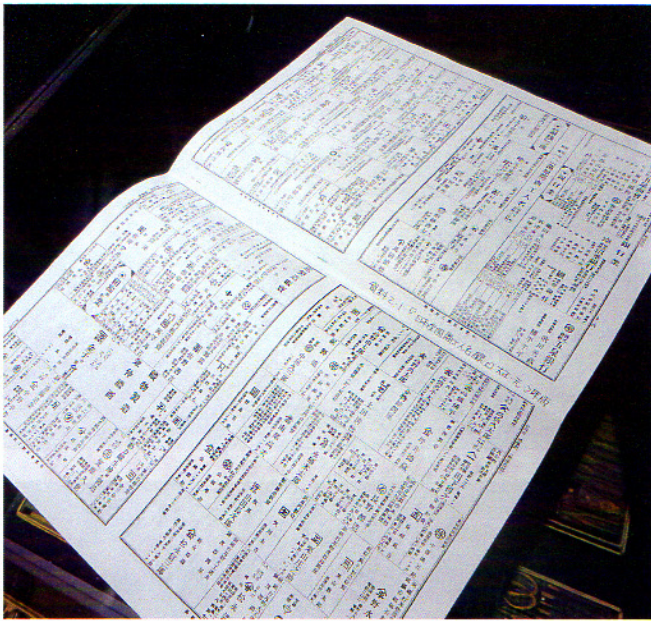
そして今日、建築をとりまく状況の変化とあいまって、道具はまったく新しい表情をも見せはじめています。目立てをする代わりにワンタッチで刃の交換ができる替刃式のこぎり。あるいは、新しい建築工法に対応する道具の数々。

そしてそれらすべての底流にも、確かな技術と、使う人の立場にたったキメの細かな配慮が、変わらず脈々と息づいています。

時代はますますそのスピードを速めています。しかし変わらないもの、変わってはならないものもあるはずです。高儀はこれからも、伝統に育まれ、裏打ちされた確かな品質だけをお届けしてまいります。







11月のお祝い

◎会員誕生祝

- 21日 宮本信秋さん
- 21日 西山徳芳さん
- 26日 熊倉昌平さん
- 29日 渋谷健一さん



◎夫人誕生祝

- 5日 川瀬弓子さん (康裕さん)
- 10日 外山セツさん (雅也さん)
- 14日 野崎ミチコさん (喜一郎さん)
- 17日 中村範子さん (和彦さん)

◎結婚記念祝

- 2日 外山雅也さん (セツさん)
- 3日 川瀬康裕さん (弓子さん)
- 3日 吉井直樹さん (道代さん)
- 9日 成田秀雄さん (久美子さん)
- 11日 金子俊郎さん (裕子さん)

◎100%出席賞

- 15年 佐野勝榮さん

「五十嵐川クリーン作戦」

去る11月9日(日)午前7時から、五十嵐川を愛する会主催の「五十嵐川クリーン作戦」が開催されました。当クラブからは16名の会員の方々よりご参加いただきました。ご協力ありがとうございました。

(出席者は週報メーカーアップの欄に掲載しております。)



次週例会 11月26日 「音楽で心豊かに」 声楽家 桑原純子様

次々週例会 12月3日 「年次総会」 高橋 司 会長

